

東京港第9次改訂港湾計画に向けた長期構想について

1 諮問理由

東京港では、平成26年に策定した第8次改訂港湾計画に基づき、港湾機能の強化を進めている。

近年、アジア貨物の更なる増加や船舶の大型化の進展など、東京港を取り巻く環境はこれまで以上に大きく変化している。また、少子高齢化による労働力不足や、AI・IoT等の情報通信技術の進化など、社会情勢も変化している。このため、港湾機能の強化とともにDXも推進するなど、物流を効率化し生産性の高い港を実現させることが必要である。

一方、首都直下地震等の発生や、頻発化、激甚化している高潮・暴風等のリスクの増大が懸念されていることから、港湾施設の老朽化に伴う更新需要の増加も見通した上で、災害発生時においても物流機能を維持できる、強靱な港の構築に向けた取組が必要である。

さらに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承、クルーズを核とした観光拠点の形成、脱炭素社会の実現など、様々な分野における取組が必要である。

このような認識の下、2040年代を見据えた長期的な視点で東京港を進化させるため、第9次改訂港湾計画の指針となる長期構想の策定を諮問するものである。

2 審議内容

- ・諮問事項については、検討部会を設置し検討する。
- ・検討部会の委員は東京都港湾審議会条例第8条第2項により、会長の指名した本審議会の委員及び臨時委員によって構成する。
- ・検討部会は原則公開とし、テーマによっては非公開とする。公開か非公開かは部会長が検討部会に諮り決定する。

3 区長意見

- ・空港臨海部グランドビジョン2030を改定しているところであり、長期構想は港湾計画の前提となるため、区からの意見や考えが反映される機会を設けてほしい。
- ・令和島地区のまちづくり構想は、区では判決の内容を踏まえた土地活用を検討している。長期構想の策定や第9次改訂港湾計画の策定を行うにあたり、区と連携を行ってほしい。

4 港湾局回答

区との連携については、長期構想の策定段階で適宜情報提供し、意見をいただく。

5 今後の方針

港湾局と連携し、進捗状況を把握していくとともに、改定作業中の空港臨海部グランドビジョン2030との整合性を図っていく。